

| | | | |
|--------|--|------|-------|
| 分野 | 専門分野Ⅰ －基礎看護学－ | 対象学年 | 1 |
| | | 時期 | 前期～後期 |
| 授業科目 | 共通基本技術Ⅰ (看護技術概論) Common Basic Nursing Skills Ⅰ | 単位 | 1 |
| | | 時間 | 30 |
| | | 方法 | 講義・演習 |
| 担当教員 | 専任教員 附属病院で10年間の実務経験有 | | |
| 科目責任者 | 専任教員 | | |
| 授業概要 | <p>看護技術は対象となる人々に対して安全・安楽に、できる限り身体的・精神的・社会的に自立して、生活が送れるよう援助する技術である。本科目では、看護技術の土台となる共通する考え方を学ぶ。それは、人間関係を形成するコミュニケーション技術、情報をアセスメントし、看護を計画的に展開する看護過程、対象の治療への主体的な参加を支援する学習支援の技術である。これらの技術は、さまざまな看護場面において必要となる技術である。</p> <p>また、看護過程の導入として、一連のプロセスについて学習する。そして看護技術も思考過程を踏んで、必要な技術の選択や方法の選択を行っていくことを学ぶ。看護に対する見方、考え方を身につけ、自ら学んでいける力を培う。</p> | | |
| 目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護技術とは何かを理解する。 2. 看護技術の基本を理解する。 3. 看護過程の一連のプロセスを理解する。 4. コミュニケーションの特徴と方法を理解する。 5. 看護における学習支援の意義と方法を理解する。 6. 対象の尊厳に配慮する姿勢を養う。 7. わからないことを自ら考え、調べる姿勢を養う。 8. 主体的に取り組む姿勢を養う。 | | |
| 評価方法 | <p>終講試験 85点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護技術の基本 14点 ・コミュニケーション技術 24点 ・看護を実践するための方法としての技術 40点 ・看護における学習支援 7点 <p>授業で取り組む課題評価 15点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセスレコード 5点 ・アセスメント 5点 ・援助計画 5点 | | |
| 使用テキスト | <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ 医学書院</p> | | |
| 参考図書 | NEW 実践 看護実践を導く 情報収集・アセスメント【第5版】 | | |
| メッセージ | <p>看護を実施するために、基本となる考え方を学ぶ科目です。初めて聞く言葉がたくさん出てきますが、一つひとつ理解しながら進めましょう。</p> <p>コミュニケーションにおいては信頼を基盤とした人間関係を形成するために、看護師としてどのようにコミュニケーションをとることが必要かを学びます。また、人としての対象理解と分析の方法について学びます。演習もありますので、じっくり考えながら取り組みましょう。</p> | | |

| 回数 | 単元・主題 | 授業のねらい | 授業内容 | 方法 | 備考 |
|----|---------------------------------|----------------------|---|----|----|
| 1 | Ⅰ 看護技術の基本 1.看護技術の概念と目的 | 看護技術の概念と目的について理解する | 技術とはなにか。看護技術の特徴や技術の基本原則について学習する。 | 講義 | |
| 2 | 2.情報の伝達と共有化 | 情報の伝達と共有の大切さについて理解する | 情報収集の基礎知識。報告・連絡・相談の大切さや記録の基礎知識について学習する。 | 講義 | |
| 3 | Ⅱ コミュニケーション技術 1.コミュニケーションの基本 | コミュニケーションの基本について理解する | コミュニケーションの基本について考える | 講義 | |

| | | | | | |
|----|-------------------------------|--|---|----|--|
| 4 | 2.カンファレンス | カンファレンスの目的について理解し、学びを共有し、新たな学びにつながることに理解する | カンファレンスの目的と進め方について学ぶ カンファレンス運営時の役割について。 | 講義 | |
| 5 | 3.プロセスレコード | プロセスレコードの目的・書き方について理解する | プロセスレコードの目的・書き方について学ぶ プロセスレコードを通して自己や他者の気持ちを考える。 | 講義 | |
| 6 | 4.プロセスレコードカンファレンスの実際 | プロセスレコードを活用して場面の再構成と行動の分析・考察ができる | プロセスレコードを用いたカンファレンスを通して、自己を振り返る方法と対象理解について学びを深める | 演習 | |
| 7 | Ⅲ看護を实践するための方法としての技術 1.看護過程 | 看護過程の一連のプロセスについて理解する | 看護過程とは何か、看護過程を学ぶ必要性やクリティカルシンキング、看護理論との関係性について学ぶ。 | 講義 | |
| 8 | 2.情報収集 | 対象を理解するための情報収集について理解する | 人として対象理解するための情報収集として、情報収集の内容や方法を学習する。 | 講義 | |
| 9 | 3.情報の分析 | 対象の捉え方、分析の方法について理解する | 対象のねがいと看護者のねがいを踏まえた上で、情報の分析を考えていく。 | 講義 | |
| 10 | 4.アセスメントのまとめ | 情報収集、分析について理解する | 情報収集、分析のまとめをする。 | 講義 | |
| 11 | Ⅳ看護の視点と看護アセスメントの実際 1.情報収集 | 紙上事例を用いて情報収集する | 紙上事例の展開 事例の対象の情報を収集し整理する。 対象のねがいを考えていく。 | 演習 | |
| 12 | 2.分析 | 紙上事例を用いてアセスメントする | 対象のねがいに対し、看護者のねがい、その根拠を考える。 | 演習 | |
| 13 | 3.援助の方向性 | 紙上事例を用いて援助の方向性を明確にする | 対象のねがいと看護者のねがいを形にしていく。対象に必要な援助を考え、援助計画を立てる。 | 演習 | |
| 14 | Ⅴ看護における学習支援 看護の中に含まれる学習支援 | 看護における学習支援について理解する | 看護における学習支援、さまざまな場における学習支援について学習する。 | 講義 | |
| 15 | | | 終講試験 | | |